

臨床で使える脳画像セミナー開催の案内

日本作業療法士協会生涯学習基礎ポイント付与対象セミナー

明日から一人で脳画像が読めるようになる（基底核・視床編）

現在、脳出血の部位別頻度は視床・基底核を合わせると60%に上ります。しかし、視床や基底核は複雑です。視床核の位置は？直接路ってなに？基底核の学習って？など色々な疑問が出てきます。私自身も勉強不足でまだまだ分からない所多い領域です。特に経験年数の浅い先生にはとても難しい領域だと思います。今回のセミナーは難しい領域を少しでも理解していただけるように作成いたしました。また、基底核の強化学習のメカニズムについても触れていくので今後の治療に役立てれると思います。興味がありましたら是非ご参加ください。

【講師】

氏名 熊谷 強 （脳画像臨床リハビリ研究会代表）

資格 認定作業療法士

文献 熊谷 強：小脳性認知情動症候群に対する認知機能検査の臨床有用性の研究. 作業療法 37：697～700, 2018

【講義内容】

- 1、 各スライスの視床核の同定
- 2、 大脳基底核の解剖と機能（直接路と間接路は何をしているのか・基底核ループとは）
- 3、 運動学習について（基底核による強化学習のメカニズム）

日時：2020年3月29日（日） 小会議室2 10：30～16：00（受付10：00～）

会場：サンメッセ香川 受講料：5000円 定員：25名

対象：理学療法士・作業療法士・言語聴覚士・看護師・介護士など医療従事者の方

主催者：脳画像臨床リハビリ研究会（日本作業療法士協会認定 SIG 団体）

申し込み方法：下記のホームページより申し込み下さい。

URL：<https://nougazourihabiri.wixsite.com/official-site>

脳画像臨床リハビリ研究会 事務局（事務局長 萩原 智和）



お問い合わせ：nougazou.rihabiri@gmail.com